



ろうさい病院つうしん

発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6
<http://www.chubuh.johas.go.jp/>

TEL: 052-652-5511
FAX: 052-653-3533

乳房再建術とリンパ浮腫に対する リンパ管静脈吻合術について

形成外科部長 加藤 友紀



先生方には日頃から病診連携を通じ大変お世話になっております。今回は、当科において最近話題となっている治療についてご紹介いたします。

【乳房再建について】

以前は乳癌手術後の乳房再建には自家組織（腹部や背部などの皮弁）による再建術しか保険適応が認められませんでした。平成24年7月から人工乳房（シリコンインプラント）を用いた乳房再建手術の保険適応が認められるようになり、乳癌患者が人工乳房を用いた再建手術を選択することができるようになりました。保険適応になったことで人工乳房による乳房再建を受ける患者数は全国的にもかなり増えてきており、当院でも徐々に症例が増えていきます。

乳房再建術には乳癌切除手術と同日に行う一期再建術と、乳癌切除手術から一年程度以上経過してから改めて手術を行う二期再建術があります。人工乳房を用いた再建手術は厚生労働省がその適応と手術施設を厳密に定めているため、残念ながら乳腺外科の専門医不在の当院では二期再建術しか行うことができませんが、乳癌手術を受けられた患者さんであれば、何年経過していても手術は可能です。以前は高額な自費診療だったため諦めていた患者さんも一度ご紹介いただければと思います。（乳房再建術希望の患者さんには火曜日午後30分の予約制特殊外来枠を設けておりますので、そこでゆっくり説明いたします）。

【リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術について】

乳癌や婦人科手術でのリンパ節郭清後の四肢のリンパ浮腫などでリンパ管の流れが滞っている場合で、術後の経過期間が比較的短くリンパ機能が残っている患者さんに対して行う手術です。ICG造影で1mm以下のリンパ管を同定して1mm程度の静脈に吻合する手術で、形成外科のマイクロサージャリー手術の技術を応用しても1か所の治療に2時間程度要します。しかし、当該手術は局所麻酔で行い、切開の傷は小さく低侵襲な手術であり、マイナス面も極めて少ない治療法であるため、リンパ浮腫の外科治療としてはメジャーになりつつある手術です。目に見えた効果が必ず出るとは限りませんが、上述の症例がありましたらご紹介いただければ幸いです。

当院の分娩の現状と4Dエコー外来開設、 さらに腹腔鏡下手術の今後について

産婦人科部長 藤原 多子

平素よりご紹介を含め当科の診療にご協力いただきありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

去年は当院の分娩予約を一時縮小し多大なご迷惑をおかけ致しましたが、現在は分娩を再開させていただいております。近年、医療施設の機能別役割分担を明確にする目的で周産期医療のリスク管理が重要視されています。当院でも妊娠初期と後半期にリスク評価を導入する事と致しました。当院にはNICU（新生児集中治療室）がありませんので、妊娠35週未満の早産となった場合は、近隣病院および高次医療施設と連携し迅速に対応させていただき、患者さんへの負担を減らしていく所存です。

今年から待望の4Dエコー外来を新設いたしました。妊娠中の胎児エコー画像の精度は年々飛躍的に向上しており、胎内での児の表情や動きなどを4D画像で確認できることから、妊婦の母性形成に役立つと言われています。2017年1月より完全予約制かつ自費診療で4Dエコー外来を開設し、予約をお受けしております。さらに近日中には妊娠中から胎児の器質的疾患を診断する目的で、周産期専門医による胎児スクリーニング外来の導入も予定しております。

腹腔鏡下手術で手術可能な婦人科疾患は、近年の医療機器・医療技術の進歩により大幅に適応が拡大しています。当院においても手術件数は年々増加し、術後のQOLも高く、患者さんより高評価をいただいております。当院は愛知県のがん診療拠点病院であり、婦人科癌に対する先進医療を積極的に取り入れております。今年度の目標としましては、2014年に保険適応対象となった初期子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮体癌根治術を行うための施設認定を取得し、より低侵襲な癌治療の普及を目指してまいります。現在20歳からの子宮頸がん検診が勧められています。検診で異常が見つかった場合には子宮頸がん検診の精密検査（二次検査）が必要になります。コルポスコピー検査は病変部を拡大鏡

で観察することで診断精度を上げ、適切な治療を選択する事が可能になるため、産科婦人科診療ガイドラインでも強く推奨されております。当院では予約制のコルポ外来を行っております。検査の詳細は当科でご説明させていただきます。ぜひご紹介およびお問い合わせ下さい。

今後も連携医療機関の先生方と共に地域の医療向上のために努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



肛門外来・乳腺外来がオープンしました

平成29年1月より、外科・消化器外科にて肛門及び乳腺の疾患に特化した専門外来を開設いたしました。対象となる患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

肛門外来：毎週月曜日午後2時～

乳腺外来：毎週木曜日午後2時～

お問い合わせは中部ろうさい病院外科・消化器外科外来（TEL：052-652-5511）までお願いいたします。

病病・病診連携の向上について **（平成28年度 病病・病診連携サービス実態調査結果報告）**

地域医療連携室

当院では、地域医療連携の強化と地域の登録医の先生方との更なる連携促進に役立てるため、例年、紹介件数上位200医療機関を対象として、病病・病診連携に関するアンケートを実施しています。

本アンケートは、項目ごとに「重視度」（医療連携を構築していく上で重要な要素と考えている医療機関の割合）及び「満足度」（当院に満足している医療機関の割合）の2点について割合を算出し、前年度の結果と比較・検証しております。

前年度は低い評価であった「逆紹介」、「報告書が届く時間」、「報告書の分かりやすさ」につきましては、治療終了後の紹介元への遅滞ない逆紹介、経過報告書の添付及び翌営業日での返書の徹底などに精力的に取り組んだ結果、それぞれ満足度が大きく向上するという結果となりました。

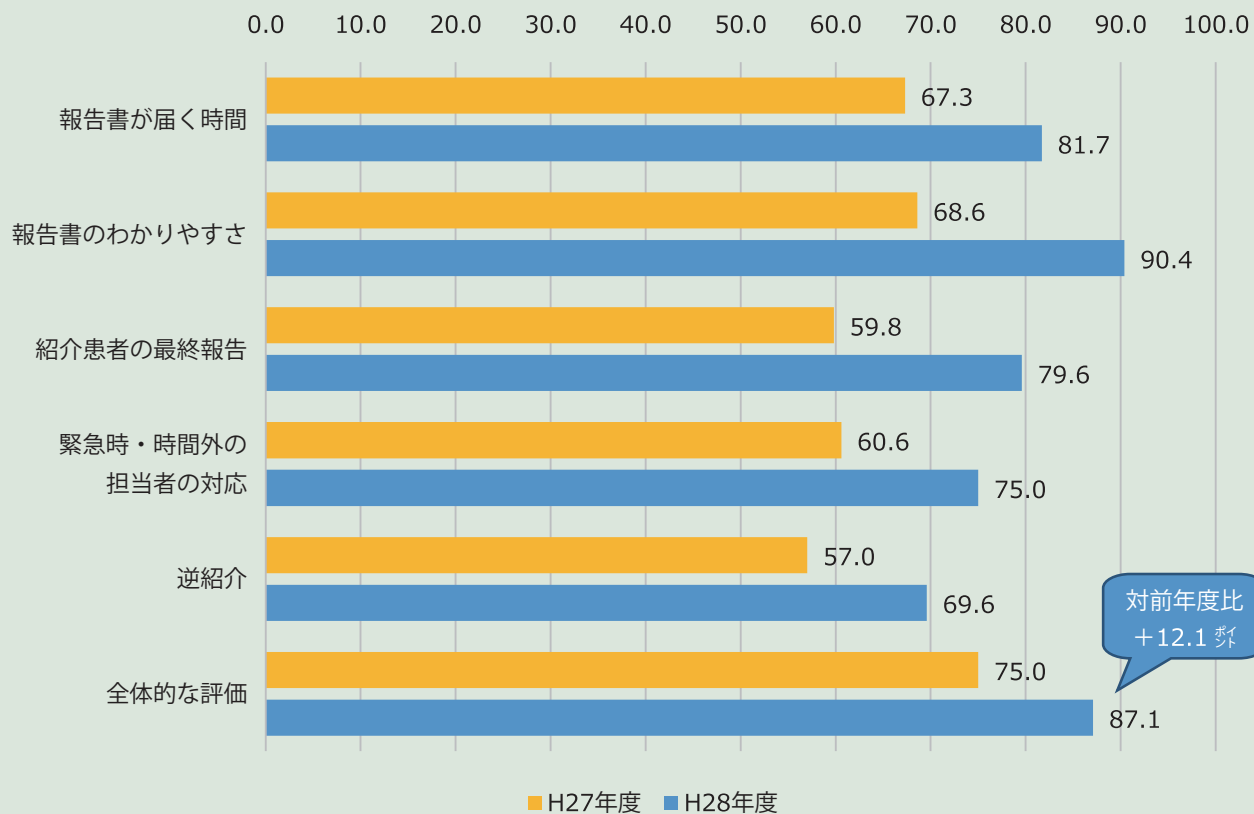
一方、前年度より評価が下がった「症例検討会（診断結果等の報告状況について）」及び「受入体制（緊急時・時間外のシステムについて）」のうち、特に「重視度」が高い「受入体制（緊急時・時間外のシステムについて）」につきましては、地域医療連携検査予約システム（C@RNA Connect）の導入及び運用についてのお知らせを行い、利便性の向上に努めているところでございます。

今年度は、アンケート25項目中23項目で前年度より満足度が上がり、全体満足度（有用度）も10ポイント以上向上するという高い評価をいただくことができました。これもひとえに先生方からのご支援の賜物だと思います。今後も紹介・逆紹介等の医療連携の基本となる部分を確実に取り組み、先生方に更に満足していただける病院を目指してまいります。

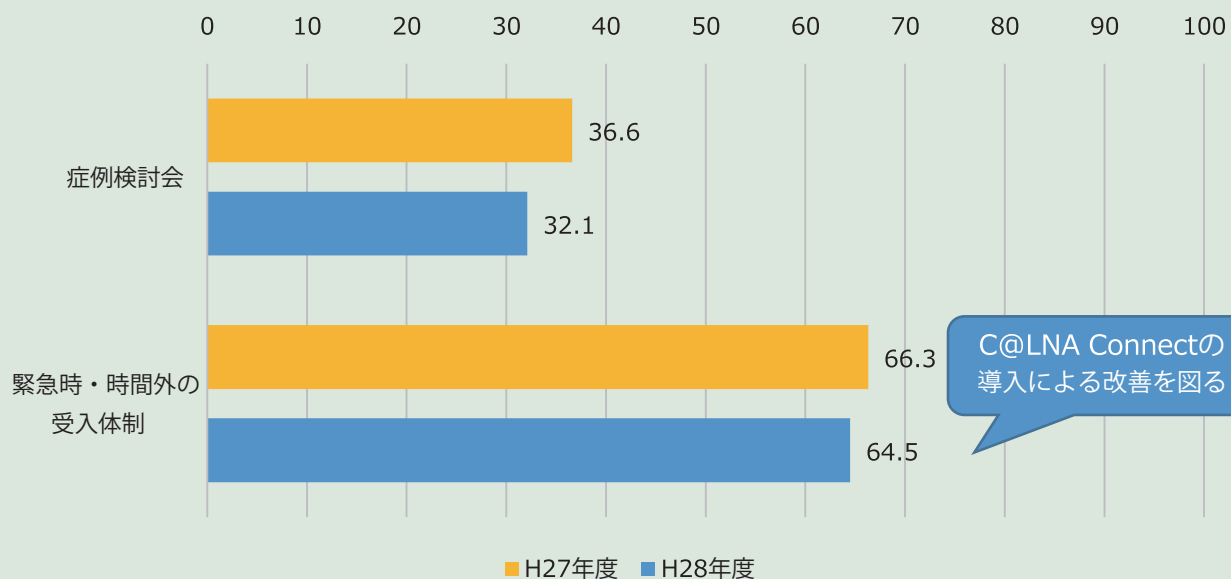
今後とも、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

病病・病診連携サービス実態調査結果（抜粋）

前年度より満足度が上昇した項目（主な項目のみ）



前年度より満足度が下降した項目



地域医療連携室だより

平成28年度中部ろうさい病院 病診連携システム運営協議会・病診連携セミナー・意見交換会を開催いたしました

平成29年1月28日（土）ローズコートホテルにおきまして、平成28年度病診連携セミナーならびに病診連携システム運営協議会・意見交換会を開催いたしました。

今回の病診連携セミナーは、当院呼吸器病センターのコラボセミナーとして、第Ⅰ部「COPDの地域連携パスについて・当院の肺がん診療について」と題して呼吸器内科 松尾 正樹 部長、第Ⅱ部「肺がんの外科的治療について」と題して呼吸器外科 菅谷 将一 部長による講演を行い、多くの登録医の先生方にご出席をいただきました。

今回講演した両診療科については、平成28年7月に病床再編を行った際に、集学的治療及び診療機能の集約化を目的とした「呼吸器病センター」として、一病棟に集約いたしました。

今後も、呼吸器内科による初期診断精度の向上、呼吸器外科による最適な外科的治療の提供について、今まで以上に努めてまいります。

また、病診連携セミナーと同時開催いたしました病診連携システム運営協議会では、今年度の当院の取組事項及び紹介・逆紹介・救急医療への対応状況について報告を行い、委員先生方からの病診連携に係る貴重なご意見をいただくことができました。

セミナー及び協議会の終了後は、当院の診療科部長を中心とした、各診療科医師、看護部、コ・メディカル、事務局等のスタッフと合同での意見交換会を併せて行いました。日頃、お世話になっている連携医療機関の先生方と、当院の診療科医師及びスタッフとの「顔が見える連携」を築くべく、様々なご意見を頂戴することができました。

平成29年度においても、地域医療連携の更なる推進を図るべく、様々な診療科のセミナーを引き続き行ってまいります。セミナーを希望する診療科や取り扱うトピックについてご要望がありましたら、地域医療連携室までお申しつけください。

医師交代

☆退 職

（平成28年10月31日付け）
伊藤 麻里絵 眼科医師

（平成28年12月31日付け）

楊 承叡 耳鼻咽喉科医師
柴田 真由 産婦人科医師
毛利 太郎 病理診断科医師

☆採 用

（平成28年11月1日付け）
御子柴 雄司 眼科医師

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室

（平日 8：15～19：30）

052-652-5950 (TEL)

052-652-5716 (FAX)

室

長：加藤 文彦（院長）

坂口 憲史（副院長）

事務担当：今関 信夫・鈴木 美有・

内藤 遵子・金井 久実